





玉寄 将氏



八幡 正氏



奥村 明雄氏

きと願います。今後は火葬方法や使用機材の規格設定等について、より具体的に踏み込んだガイドラインが必要と感じています。

奥村 次に、北海道お仕事をされている管理士副会長八幡さんをお願いします。

八幡 現場で仕事をしている一番になるのは、やはり状況把握し、対応できるようにするには、私のような人間が、例えは、私のところでは、台車式の炉で車が自動でも手動スイッチ操作でも動かないトラブルが発生した

## 総括火葬管理技術士には幅広い知識の確立に期待 玉寄 遺族と向き合い、地域に密接した施設に 八幡 変わりつつある火葬場、マネジメントが重要に 奥村

時のことですが、他の炉も使用せずに終わらせたことがあったと思いますが、それが災害等の不測の事態になったときに生きていくと考えています。

奥村 一通り皆さんから話を聞くと、火葬場は病院や学校などと同様、わが国では必須不可欠の施設です。公衆衛生等からの注文事項が大きくなり、大型化、重機化が必要となり、専門の普通運搬体制が必要になってきます。その運営費用をどのように工面するのかが真剣に考えなければなりません。

わが国では、病院の費用は国民の共助、すなわち医療保険の保険料が主財源です。公立学校は国・自治体の公財源(税)が充てられますが、私立学校は受益者負担で運営します。火葬は、伝統的には地域集落コミュニティの努力提供で行われており、共助の色彩が強いところも考えられます。

少のことであれば、部室をカットし費用を別な部分に駆使した頑丈な炉になることは考えています。電子部材が少なくなれば、機械を維持するコストが軽減する可能性も考えられます。また、コスト削減も必要です。

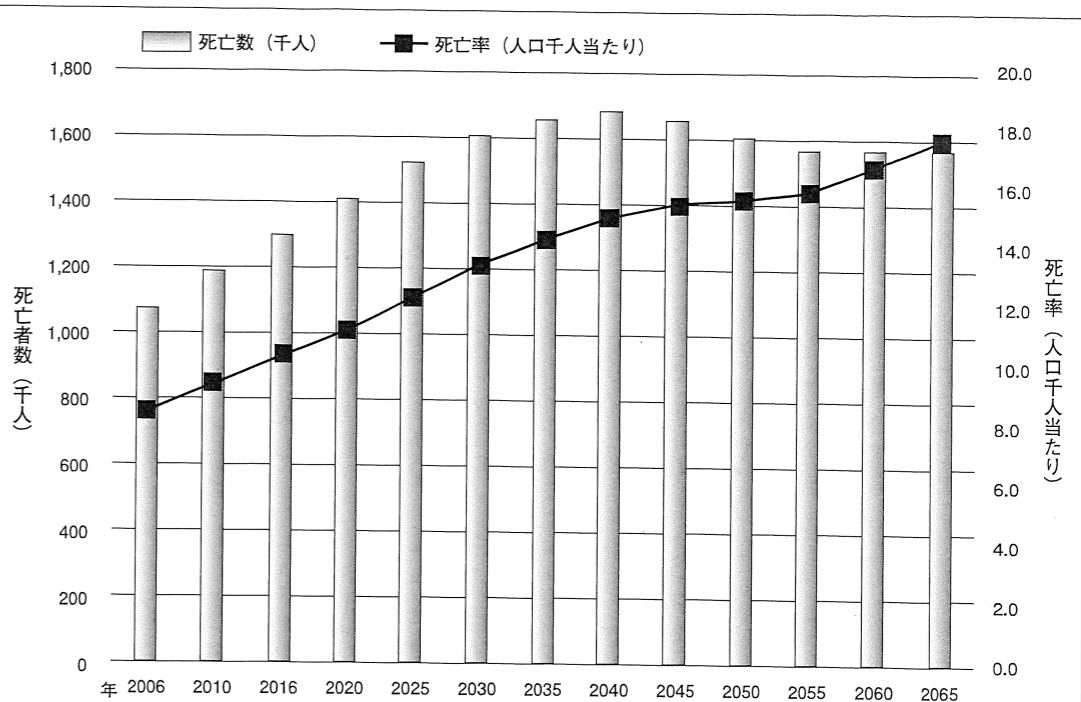
自治体運営のほか、指定管理、運営委託、全くの営利法人の運営等、火葬場運営の多様化が図られます。必要なのは国民の葬送感情に即した故人の別々の実施です。その

した観点からの墓地埋葬法の運用における改善が求められています。

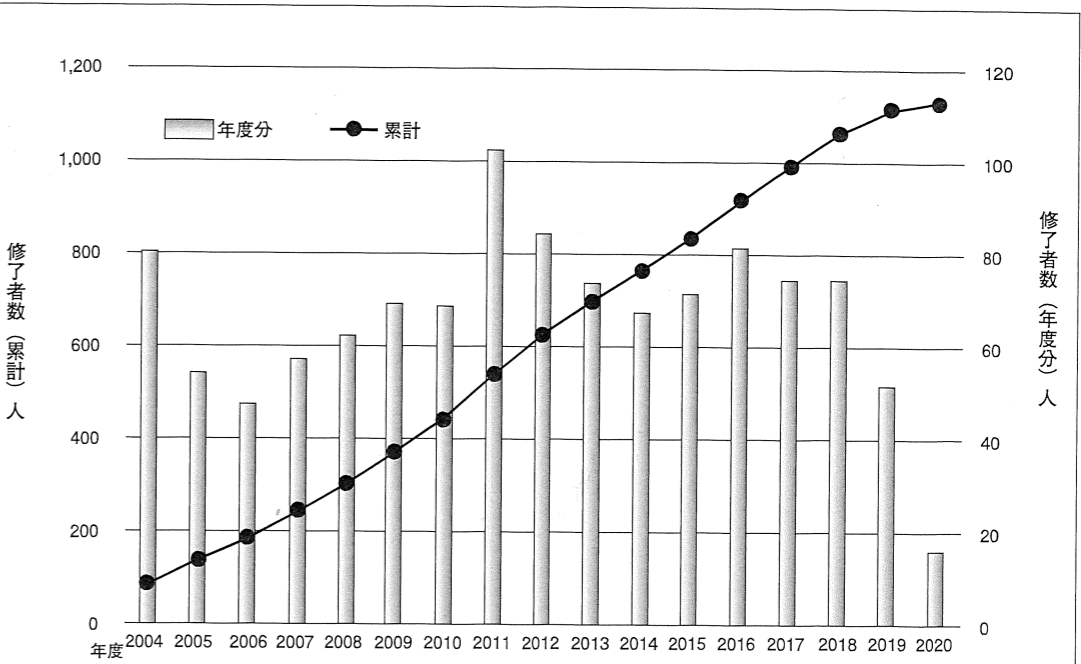
奥村 これからの火葬場は、大規模化、高度化、費用も増加します。その費用をどう捻出していくかは大きな課題です。次に、横田さんお願いします。

横田 これまでの火葬場は規模も小さく、運転時間が限られていたため、わが国における大気中の有害物質の排出インベントリからみた場合、火葬の寄与は高くなく、対策外とされてきました。廃棄物の焼却処理過程で発生する集じん灰と同様な残灰が火葬場からも発生しますが、火葬場はその運営上、国民に特別な感情的感情を抱かせるものであることに鑑み、火葬場で発生した残灰は廃棄物処理法の処分基準が厳格な基準になっています。

しかし、最近整備された大都市の大規模火葬場の中には、その排気筒出口濃度が一般廃棄物焼却処理施設と同等の厳



資料：2006年、2010年、2016年は厚生労働省「人口動態統計」による死亡数（いずれも日本人）。2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の死亡中位仮定による推計結果（日本における外国人を含む）



火葬技術管理士通信教育修了者数の推移

